

2026年3月25日
南海電気鉄道株式会社

和歌山市へ企業版ふるさと納税で5億円の寄附を決定 — 名門英国パブリックスクール「ゴードンストウン」の日本校を支援 —

南海電気鉄道株式会社（社長：岡嶋 信行、以下「南海電鉄」）は、「企業版ふるさと納税」を活用して、和歌山市へ総額5億円の寄附を行うことを決定しました。

■ 背景と目的

南海電鉄は、「2050年の企業像」で「沿線への誇りを礎に、関西にダイバーシティ^{※2}を築く事業家集団」、および中期経営計画における「外国人共生」を実現する方針を掲げ、多様性豊かな沿線づくりや国際教育環境の整備取り組みを推進しています。

その一環として、2025年8月には、学校法人 OCC、サンヨーホームズ株式会社および和歌山市とインターナショナルスクール誘致に関する4者協定を締結しました。和歌山大学前駅近くで開校予定のゴードンストウン・ジャパン・ウェスト校^{※1}は、当該協定に基づき推進する取り組みです。

本寄附は、この学校の開校を支援するにあたり、和歌山市が運用する企業版ふるさと納税制度を活用し、同市と協働して未来世代への投資を進める「地域共創」の取り組みとして位置づけるものです。2025年度以降、おおむね3か年程度を目途に状況を踏まえながら段階的に実施する予定です。

※1 本校は、これまで「(仮称)ゴードンストウン・スクール日本校」としてお知らせしてきた学校です

※2 ダイバーシティ:「多様性」に代表される“Diversity”と、「多様性あふれる街」を意味する“Diverse City”=“DiverCity”(造語)の2つの想いを表現

■ 「ゴードンストウン・ジャパン・ウェスト校」の概要

※和歌山市プレスリリース(2025年8月8日付)より再掲

「ゴードンストウン・ジャパン・ウェスト校」は英国で運営されているゴードンストウン・スクールの姉妹校です。和歌山市の自然豊かな周辺環境、教育上重視しているセーリングに適した環境、関空からのアクセスが良好等のポイントが評価され、下記の要領にて開校が予定されております。

学校名	ゴードンストウン・ジャパン・ウェスト校		
開校予定	令和9年(2027年) 9月		
場所	和歌山市梅原635-1	敷地面積	約15ha
設置・運営者	学校法人 OCC(大阪市阿倍野区丸山通1丁目3-61)		
資産保有者及び整備者	サンヨーホームズ株式会社(大阪市西区西本町1丁目4番1号)		
生徒数	700名(1学年100人×小6~高3の7学年) ※開校時は小6~中3の4学年でスタートし、順次入学		
教職員数	200名程度(うち教員175名程度)		
寮	350部屋(全寮制予定)		